

8 図書館リテラシー教育の実績

(1) 図書館活用法※1 *半期2単位(駿河台:前期, 生田:後期, 中野:後期, 和泉:2006年より前期・後期 に開講)

		2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
中 央 図 書 館	履修者数	87	133	89	116	107	43	57	50	73
	開講数	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	授業回数 ※2	13 (9)	13 (10)	14 (11)	14 (11)	14 (11)	14 (10)	12 (9)	14 (10)	15 (11)
	担当講師数 ※3	12 (9)	12 (10)	14 (12)	14 (12)	14 (11)	13 (10)	13 (11)	13 (9)	14 (10)
和 泉 図 書 館	履修者数	457	523	258	252	302	262	231	253	244
	開講数	2	4	4	4	4	4	4	4	4
	授業回数 ※2	26 (20)	52 (40)	56 (44)	56 (44)	56 (44)	56 (40)	52 (38)	56 (40)	60 (44)
	担当講師数 ※3	10 (8)	23 (20)	21 (17)	21 (17)	22 (18)	25 (22)	27 (23)	24 (22)	24 (22)
生 田 図 書 館	履修者数	155	160	152	60	56	42	30	36	26
	開講数	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	授業回数 ※2	13 (8)	13 (10)	14 (11)	14 (10)	14 (10)	13 (9)	14 (10)	14 (10)	15 (10)
	担当講師数 ※3	11 (6)	10 (7)	8 (5)	10 (6)	10 (6)	9 (6)	10 (7)	9 (6)	9(6)
中 野 図 書 館	履修者数									11
	開講数									1
	授業回数 ※2									15 (10)
	担当講師数 ※3									8 (5)
履修者総数		699	816	499	428	465	347	318	339	354

※1 2000年開講

※2 カッコ内の数字は職員が担当した回。ただし、教員とともに担当した回は除く

※3 複数のキャンパスを担当した場合はそれぞれに計上。カッコ内の数字は職員。

(2) ゼミツアー *フリーツアー(すべての利用資格者対象)含む

		2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
中 央 図 書 館	回数	92	81	109	102	89	81	59	62	62
	履修者数	1,060	1,006	1,278	1,137	1,035	905	689	851	714
和 泉 図 書 館	回数	114	130	157	181	178	153	139	263	195
	履修者数	2,084	2,416	2,761	3,055	2,850	2,738	2,221	3,278	2,864
生 田 図 書 館	回数	6	12	4	25	33	31	28	38	25
	履修者数	140	127	38	267	237	202	163	184	167
中 野 図 書 館	回数									28
	履修者数									396

(3) 出前講義 *「図書館活用法」を除く教室授業, 図書館外施設授業など

		2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
中 央 図 書 館	回数	ゼミツアーに含む								
	履修者数									
和 泉 図 書 館	回数	0	0	5	3	3	0	0	0	0
	履修者数	0	0	154	105	65	0	0	0	0
生 田 図 書 館	回数	0	2	2	14	10	12	8	8	8
	履修者数	0	56	213	262	380	443	294	300	286
中 野 図 書 館	回数									3
	履修者数									22

(4)各種講習会 *情報・文献検索講習会, DB 講習会, テーマ別講習会, グループガイダンスなど

		2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
中央図書館	回数	24	23	48	26	22	28	26	19	19
	参加者数	57	78	324	148	264	269	296	221	196
和泉図書館	回数			0	0	10	35	45	59	51
	参加者数			0	0	114	486	283	397	260
生田図書館	回数	0	0	2	9	11	13	17	22	10
	参加者数	0	0	16	478	158	118	137	71	200
中野図書館	回数									17
	参加者数									80

(5)オリエンテーション *新入生, 新任教員, 三年次, 留学生など

		2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
中央図書館	回数	4	5	8	8	8	9	6	8	8
	参加者数	738	1,696	1,592	1,548	1,548	1,501	1,076	1,404	1,132
和泉図書館	回数			9	11	14	13	15	12	8
	参加者数			4,166	5,723	5,725	5,864	5,486	5,232	4,987
生田図書館	回数	データなし	3	6	9	6	4	4	4	4
	参加者数	データなし	1,095	659	820	1,658	1,585	1,683	1,640	1,632
中野図書館	回数									6
	参加者数									890

(6)見学・視察 *各種団体, 個人, 学校など

		2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
中央図書館	回数 ※1	116	100	103	136	121	148	129	140	134
	参加者数	3,011	2,266	3,137	2,596	3,136	3,752	3,470	3,785	4,088
和泉図書館	回数 ※1			50	63	20	7	13	118	118
	参加者数			59	450	815	162 (303)※2	491	3,502	2,099
生田図書館	回数 ※1	12	9	11	13	4	1	-	1	0
	参加者数	407	390	238	633	706	591	312	532	232
中野図書館	回数 ※1									43
	参加者数									2,083

※1 個人での見学は含まない

※2 カッコ内の数字は建物外からの概要説明のみ

学部間共通総合講座「図書館活用法」

《前期》

図書館活用法			コーディネーター	
			経営学部 森 久	
地区・駿河台	2単位	半期(前期)	木曜日 2 時限	
1 授業の概要・目的 図書館を使って、様々な学術情報、文献、資料を目的に応じて適切な方法で検索、入手し、レポート・論文作成のために正しく利用できるようになる「学術情報リテラシー」能力を身に付けることを目的とします。また、検索の技法だけではなく、授業を通して図書館や書物、蔵書の触れ合い、奥探求を味わうことで、リテラシーの基礎となる、そして自立的「読」そして知識基盤社会を生き抜いていくための基礎力を養います。特に駿河台キャンパスにおいては、専門的な文献・情報や、蔵書に頼りしも成立った企業蔵書の扱いに学びます。				
2 日程・テーマ・担当				
①	4月11日	大学図書館への招待	経営学部 教授 森 久 中央図書館事務長 伊能 秀明	
②	4月18日	図書館総合利用法	図書館職員 小野 聡・吉田 千草・小倉 葉子・永田 由香利	
③	4月25日	読書を愉しむ	経営学部 教授 福満 正博	
④	5月 2日	文献・情報の探し方(1)概論	図書館職員 久松 薫子	
⑤	5月 9日	レポート・論文の書き方	大学院経営学研究科兼任講師 谷飛鴻	
⑥	5月16日	図書館と著作権	図書館職員 杉谷 美和	
⑦	5月23日	文献・情報の探し方(2)図書	図書館職員 永田由香利・久松 薫子	
⑧	5月30日	文献・情報の探し方(3)雑誌論文①	図書館職員 吉澤 順子・杉谷 美和	
⑨	6月 6日	文献・情報の探し方(4)雑誌論文②	図書館職員 吉澤 順子・杉谷 美和	
⑩	6月13日	文献・情報の探し方(5)レファレンス資料	図書館職員 小倉 葉子・久松 薫子	
⑪	6月20日	文献・情報の探し方(6)専門情報、新聞	図書館職員 小倉 葉子・久松 薫子	
⑫	6月27日	文献・情報の探し方(7)インターネット	図書館職員 小野 聡 国際日本学部 兼任講師 寛 直之	
⑬	7月 4日	検索技術の向上	図書館職員 小野 聡・梅田 順一	
⑭	7月11日	文献・情報の探し方(8)まとめ	図書館職員 関口 則枝・吉田 千草	
⑮	7月18日	総合演習	経営学部 教授 森 久 図書館職員 関口 則枝・吉田 千草	
3 履修上の注意 教員と専門の図書館員が、それぞれのテーマを分担します。講義(概論)と演習を有機的に組み合わせ、演習では実際にパソコンを操作してデータベース検索等を行います。なお、演習授業は、情報基盤本部が実施するMIND利用講習会を事前に受けていないと受講できませんので、注意してください。				
4 教科書 教材は印刷資料を配布する。				
5 参考書 大野友和編『大学図書館がゼロからわかる本：学生のための図書館活用法』(2005、日本図書館協会、ISBN9784820405009) 佐藤望編著『アカデミック・スキルズ：大学生のための知的技術入門』(2006、慶應義塾大学出版会、ISBN4766413245) 渡井俊博著『おもしろレポート・読解を学ぶ者のために』(2007、東洋館、ISBN9784330060747) 松本勝久著『情報検索入門ハンドブック・データベース・Web、図書館の利用法』(2008、勉誠出版、ISBN9784385071242) 高橋祐樹著『デジタル情報資源の検索』(第2版、2009、日本図書館協会、ISBN9784820408222) 大野友和著『文科系学生の情報術』(2004、東洋館、ISBN4767200365)				
6 成績評価の方法 ①平常点(50%)、②総合テスト(25%)、③期末レポート(25%)を総合的に判断する予定です。＊授業回数の3分の1以上欠席した場合は、原則として期末レポートを提出する資格がありませんので注意してください。				
7 その他 ①～⑮の演習授業は、履修者を2クラスに分け、12号館のメディア教室で行います。				

図書館活用法			コーディネーター	
			経営学部 畑中 基紀	
地区・和泉	2単位	半期(前期)	火曜日 5 時限	
1 授業の概要・目的 図書館を目的に応じて適切に利用できるようになる「図書館リテラシー」、様々な学術情報、文献、資料を目的に応じて適切な方法で検索、入手し、レポート・論文作成のために正しく利用できるようになる「学術情報リテラシー」の2つのリテラシー能力を身に付けることを目的とします。また、検索の技法だけではなく、授業を通して図書館や書物、蔵書の触れ合い、奥探求を味わうことで、リテラシーの基礎となる、そして自立的「読」そして知識基盤社会を生き抜いていくための基礎力を養います。特に和泉キャンパスにおいては、基本的な図書館の使い方や図書館の探し方、調査法の基本、情報を利用する上でのマナーなどを学びます。				
2 日程・テーマ・担当				
①	4月16日	大学図書館への招待	経営学部 准教授 畑中 基紀 和泉図書館事務長 坂口 雅樹	
②	4月23日	文献・情報の探し方(1)概論	図書館職員 西脇 亜由子	
③	4月30日	レポート・論文の書き方	経営学部 准教授 畑中 基紀	
④	5月 7日	図書館と著作権	図書館職員 鈴木 秀子	
⑤	5月14日	書物の愉しみ	経営学部 兼任講師 永野 宏志	
⑥	5月21日	文献・情報の探し方(2)図書①	【演習】 図書館職員 小林 純一・豊満 朝子	
⑦	5月28日	文献・情報の探し方(3)図書②	【演習】 図書館職員 小林 純一・豊満 朝子	
⑧	6月 4日	文献・情報の探し方(4)雑誌論文①	【演習】 図書館職員 永田 由香利・桑原 理恵	
⑨	6月11日	文献・情報の探し方(5)雑誌論文②	【演習】 図書館職員 永田 由香利・桑原 理恵	
⑩	6月18日	文献・情報の探し方(6)レファレンス資料	【演習】 図書館職員 畑野 蘭子・安田 さなえ	
⑪	6月25日	文献・情報の探し方(7)新聞	【演習】 図書館職員 畑野 蘭子・安田 さなえ	
⑫	7月 2日	文献・情報の探し方(8)インターネット	【演習】 図書館職員 菊池 亮一 和泉メディア支援職員 井上 拓裕	
⑬	7月 9日	レポートの書き方	【演習】 図書館職員 安田 さなえ・篠 麻子	
⑭	7月16日	文献・情報の探し方(9)まとめ	【演習】 図書館職員 柴尾 晋・矢野 恵子	
⑮	7月23日	総合演習	【演習】 経営学部 准教授 畑中 基紀 図書館職員 柴尾 晋・矢野 恵子	
3 履修上の注意 教員と専門の図書館員が、それぞれのテーマを分担します。講義(概論)と演習を有機的に組み合わせ、演習では実際にパソコンを操作してデータベース検索等を行います。 なお、演習授業は、情報基盤本部が実施するMIND利用講習会を事前に受けていないと受講できませんので、注意してください。				
4 教科書 教材は印刷資料を配布する。				
5 参考書 大野友和編『大学図書館がゼロからわかる本―学生のための図書館活用法』(2005、日本図書館協会、ISBN9784820405009) 小笠原喜康著『大学生のためのレポート・論文術』(2004、講談社、ISBN4001490634)				
6 成績評価の方法 ①平常点(50%)、②総合テスト(25%)、③期末レポート(25%)を総合的に判断する予定です。＊授業回数の3分の1以上欠席した場合は、原則として期末レポートを提出する資格がありませんので注意してください。				
7 その他				

図書館活用法			コーディネーター	
			経営学部 畑中 基紀	
地区・和泉	2単位	半期(前期)	火曜日 6 時限	
1 授業の概要・目的 図書館を目的に応じて適切に利用できるようになる「図書館リテラシー」、様々な学術情報、文献、資料を目的に応じて適切な方法で検索、入手し、レポート・論文作成のために正しく利用できるようになる「学術情報リテラシー」の2つのリテラシー能力を身に付けることを目的とします。また、検索の技法だけではなく、授業を通して図書館や書物、蔵書の触れ合い、奥探求を味わうことで、リテラシーの基礎となる、そして自立的「読」そして知識基盤社会を生き抜いていくための基礎力を養います。特に和泉キャンパスにおいては、基本的な図書館の使い方や図書館の探し方、調査法の基本、情報を利用する上でのマナーなどを学びます。				
2 日程・テーマ・担当				
①	4月16日	大学図書館への招待	経営学部 准教授 畑中 基紀 和泉図書館事務長 坂口 雅樹	
②	4月23日	文献・情報の探し方(1)概論	図書館職員 篠 麻子	
③	4月30日	レポート・論文の書き方	経営学部 准教授 畑中 基紀	
④	5月 7日	図書館と著作権	図書館職員 梅田 順一	
⑤	5月14日	書物の愉しみ	経営学部 兼任講師 永野 宏志	
⑥	5月21日	文献・情報の探し方(2)図書①	【演習】 図書館職員 斎木 信一	
⑦	5月28日	文献・情報の探し方(3)図書②	【演習】 図書館職員 斎木 信一	
⑧	6月 4日	文献・情報の探し方(4)雑誌論文①	【演習】 図書館職員 折戸 晶子	
⑨	6月11日	文献・情報の探し方(5)雑誌論文②	【演習】 図書館職員 折戸 晶子	
⑩	6月18日	文献・情報の探し方(6)レファレンス資料	【演習】 図書館職員 篠 麻子	
⑪	6月25日	文献・情報の探し方(7)新聞	【演習】 図書館職員 篠 麻子	
⑫	7月 2日	文献・情報の探し方(8)インターネット	【演習】 図書館職員 角 祐二郎	
⑬	7月 9日	レポートの書き方	【演習】 図書館職員 斎木 信一	
⑭	7月16日	文献・情報の探し方(9)まとめ	【演習】 図書館職員 矢野 恵子	
⑮	7月23日	総合演習	【演習】 経営学部 准教授 畑中 基紀 図書館職員 柴尾 晋	
3 履修上の注意 教員と専門の図書館員が、それぞれのテーマを分担します。講義(概論)と演習を有機的に組み合わせ、演習では実際にパソコンを操作してデータベース検索等を行います。 なお、演習授業は、情報基盤本部が実施するMIND利用講習会を事前に受けていないと受講できませんので、注意してください。				
4 教科書 教材は印刷資料を配布する。				
5 参考書 大野友和編『大学図書館がゼロからわかる本：学生のための図書館活用法』(2005、日本図書館協会、ISBN9784820405009) 小笠原喜康著『大学生のためのレポート・論文術』(2004、講談社、ISBN4001490634)				
6 成績評価の方法 ①平常点(50%)、②総合テスト(25%)、③期末レポート(25%)を総合的に判断する予定です。＊授業回数の3分の1以上欠席した場合は、原則として期末レポートを提出する資格がありませんので注意してください。				
7 その他				

《後期》

図書館活用法			コーディネーター	
			経営学部 畑中 基紀	
地区：和泉	2単位	半期(後期)	火曜日 5 時限	
1 授業の概要・目的 図書館を使って、様々な学術情報、文献、資料を目的に応じて適切な方法で検索、入手し、レポート・論文作成のために正しく利用できるようになる「学術情報リテラシー」能力を身に付けることを目的とします。また、検索の技法だけではなく、授業を通して図書館や書物、読書の楽しみ、奥読さる味わいなどで、リテラシーの基礎となる、そして自立した「個人」で知識基盤社会を生き抜いていくための基礎力を養います。特に和泉キャンパスにおいては、基本的な図書館の使い方や図書の探し方、調査法の基本、情報を利用する上でのマナーなどを学びます。				
2 日程・テーマ・担当書				
①	9月24日	大学図書館への招待	経営学部 准教授 畑中 基紀 和泉図書館事務長 坂口 雅樹	
②	10月 1日	文献・情報の探し方(1)概論	図書館職員 安田 さなえ	
③	10月 8日	レポート・論文の書き方	経営学部 准教授 畑中 基紀	
④	10月15日	図書館と著作権	図書館職員 鈴木 秀子	
⑤	10月22日	書物の楽しみ	経営学部 兼任講師 永野 宏志	
⑥	10月29日	文献・情報の探し方(2)図書①	【演習】 図書館職員 松並 康子・仲山 加奈子	
⑦	11月 5日	文献・情報の探し方(3)図書②	【演習】 図書館職員 松並 康子・仲山 加奈子	
⑧	11月12日	文献・情報の探し方(4)雑誌論文①	【演習】 図書館職員 宮澤 順子・桑原 理恵	
⑨	11月19日	文献・情報の探し方(5)雑誌論文②	【演習】 図書館職員 宮澤 順子・桑原 理恵	
⑩	11月26日	文献・情報の探し方(6)レファレンス資料	【演習】 図書館職員 吉田 千草・畑野 麻子	
⑪	12月 3日	文献・情報の探し方(7)新聞	【演習】 図書館職員 吉田 千草・畑野 麻子	
⑫	12月10日	文献・情報の探し方(8)インターネット	【演習】 図書館職員 梅田 順一 和泉メディア支援職員 井上 拓弥	
⑬	12月17日	レポートの書き方	【演習】 図書館職員 柴尾 晋・矢野 恵子	
⑭	1月 7日	文献・情報の探し方(9)まとめ	【演習】 図書館職員 関口 剛枝・矢野 恵子	
⑮	1月14日	総合演習	経営学部 准教授 畑中 基紀 図書館職員 関口 剛枝・矢野 恵子	
3 履修上の注意点・卒業学習の内容 教員と専門の図書館員が、それぞれのテーマを分担します。講義(概論)と演習を有機的に組み合わせ、演習では実際にパソコンを操作してデータベース検索等を行います。なお、演習授業は、情報基盤本部が実施するMIND利用講習会を事前に受けていないと受講できませんので、注意してください。				
4 教科書 教材は印刷資料を配布する。				
5 参考書 大野友和編「大学図書館がゼロからわかる本―学生のための図書館活用法」(2005、日本図書館協会、ISBN9784830405009) 小笠原善康著「大学生のためのレポート・論文術」(2004、講談社、ISBN4061496034)				
6 成績評価の方法 ①平常点(50%)、②総合テスト(25%)、③期末レポート(25%)を総合的に判断する予定です。＊授業回数の3分の1以上欠席した場合は、原則として期末レポートを提出する資格がありませんので注意してください。				
7 その他				

図書館活用法			コーディネーター	
			経営学部 畑中 基紀	
地区：和泉	2単位	半期(後期)	火曜日 6 時限	
1 授業の概要・目的 図書館を使って、様々な学術情報、文献、資料を目的に応じて適切な方法で検索、入手し、レポート・論文作成のために正しく利用できるようになる「学術情報リテラシー」能力を身に付けることを目的とします。また、検索の技法だけではなく、授業を通して図書館や書物、読書の楽しみ、奥読さる味わいなどで、リテラシーの基礎となる、そして自立した「個人」で知識基盤社会を生き抜いていくための基礎力を養います。特に和泉キャンパスにおいては、基本的な図書館の使い方や図書の探し方、調査法の基本、情報を利用する上でのマナーなどを学びます。				
2 日程・テーマ・担当書				
①	9月24日	大学図書館への招待	経営学部 准教授 畑中 基紀 和泉図書館事務長 坂口 雅樹	
②	10月 1日	文献・情報の探し方(1)概論	図書館職員 矢野 恵子	
③	10月 8日	レポート・論文の書き方	経営学部 准教授 畑中 基紀	
④	10月15日	図書館と著作権	図書館職員 梅田 順一	
⑤	10月22日	書物の楽しみ	経営学部 兼任講師 永野 宏志	
⑥	10月29日	文献・情報の探し方(2)図書①	【演習】 図書館職員 齋木 信一	
⑦	11月 5日	文献・情報の探し方(3)図書②	【演習】 図書館職員 齋木 信一	
⑧	11月12日	文献・情報の探し方(4)雑誌論文①	【演習】 図書館職員 安田 さなえ	
⑨	11月19日	文献・情報の探し方(5)雑誌論文②	【演習】 図書館職員 安田 さなえ	
⑩	11月26日	文献・情報の探し方(6)レファレンス資料	【演習】 図書館職員 藤 麻子	
⑪	12月 3日	文献・情報の探し方(7)新聞	【演習】 図書館職員 藤 麻子	
⑫	12月10日	文献・情報の探し方(8)インターネット	【演習】 図書館職員 角 祐二郎	
⑬	12月17日	レポートの書き方	【演習】 和泉図書館事務長 坂口 雅樹	
⑭	1月 7日	文献・情報の探し方(9)まとめ	【演習】 図書館職員 柴尾 晋	
⑮	1月14日	総合演習	経営学部 准教授 畑中 基紀 図書館職員 矢野 恵子	
3 履修上の注意点・卒業学習の内容 教員と専門の図書館員が、それぞれのテーマを分担します。講義(概論)と演習を有機的に組み合わせ、演習では実際にパソコンを操作してデータベース検索等を行います。なお、演習授業は、情報基盤本部が実施するMIND利用講習会を事前に受けていないと受講できませんので、注意してください。				
4 教科書 教材は印刷資料を配布する。				
5 参考書 大野友和編「大学図書館がゼロからわかる本―学生のための図書館活用法」(2005、日本図書館協会、ISBN9784830405009) 小笠原善康著「大学生のためのレポート・論文術」(2004、講談社、ISBN4061496034)				
6 成績評価の方法 ①平常点(50%)、②総合テスト(25%)、③期末レポート(25%)を総合的に判断する予定です。＊授業回数の3分の1以上欠席した場合は、原則として期末レポートを提出する資格がありませんので注意してください。				
7 その他				

図書館活用法			コーディネーター	
			農学部 賀来 華江	
地区：生田	2単位	半期(後期)	金曜日 4 時限	
1 授業の概要・目的 図書館を使って、様々な学術情報、文献、資料を目的に応じて適切な方法で検索、入手し、レポート・論文作成のために正しく利用できるようになる「学術情報リテラシー」能力を身に付けることを目的とします。また、検索の技法だけではなく、授業を通して図書館や書物、読書の楽しみ、奥読さる味わいなどで、リテラシーの基礎となる、そして自立した「個人」で知識基盤社会を生き抜いていくための基礎力を養います。特に生田キャンパスにおいては、自然科学系の文献・情報の調査法などについても学びます。				
2 日程・テーマ・担当書				
①	9月20日	大学図書館への招待	農学部 教授 賀来 華江 生田図書館事務長 永島 英明	
②	9月27日	図書館のある人生	理工学部 准教授 林 ひふみ	
③	10月 4日	文献・情報の探し方(1)概論	図書館職員 西脇 亜由子	
④	10月11日	レポート・論文の書き方	農学部 専任講師 大論 潤	
⑤	10月18日	図書館と著作権	図書館職員 平田 さくら	
⑥	10月25日	文献・情報の探し方(2)図書	【演習】 図書館職員 小林 純一	
⑦	11月 8日	文献・情報の探し方(3)雑誌論文①	【演習】 図書館職員 豊満 朝子	
⑧	11月15日	文献・情報の探し方(4)雑誌論文②	【演習】 図書館職員 小林 純一	
⑨	11月29日	文献・情報の探し方(5)レファレンス資料	【演習】 図書館職員 平田 さくら	
⑩	12月 6日	文献・情報の探し方(6)専門情報・新聞	【演習】 図書館職員 豊満 朝子	
⑪	12月13日	文献・情報の探し方(7)インターネット	【演習】 図書館職員 角 祐二郎	
⑫	12月20日	検索技術の向上	【演習】 図書館職員 平田 さくら	
⑬	1月10日	文献・情報の探し方(8)まとめ	【演習】 図書館職員 西脇 亜由子	
⑭	1月17日	総合演習	【演習】 農学部 教授 賀来 華江 図書館職員 西脇 亜由子	
⑮		図書館総合利用法「進化する図書館」	農学部 教授 賀来 華江	
3 履修上の注意点・卒業学習の内容 教員と専門の図書館員が、それぞれのテーマを分担します。講義(概論)と演習を有機的に組み合わせ、演習では実際にパソコンを操作してデータベース検索等を行います。なお、演習授業は、情報基盤本部が実施するMIND利用講習会を事前に受けていないと受講できませんので、注意してください。④回は和泉図書館に「Zoom」のリンクを行います。日程・内容については前回講義にて発表する予定です。				
4 教科書 教材は印刷資料を配布する。				
5 参考書 大野友和編「大学図書館がゼロからわかる本―学生のための図書館活用法」(2005、日本図書館協会、ISBN9784830405009)				
6 成績評価の方法 ①平常点(50%)、②総合テスト(25%)、③期末レポート(25%)を総合的に判断する予定です。＊授業回数の3分の1以上欠席した場合は、原則として期末レポートを提出する資格がありませんので注意してください。				
7 その他				

図書館活用法			コーディネーター	
			国際日本学部 美濃部 仁	
地区：中野	2単位	半期(後期)	水曜日 3 時限	
1 授業の概要・目的 図書館を使って、様々な学術情報、文献、資料を目的に応じて適切な方法で検索、入手し、レポート・論文作成のために正しく利用できるようになる「学術情報リテラシー」能力を身に付けることを目的とします。また、検索の技法だけではなく、授業を通じて図書館や書物、読書の楽しみ、奥読さる味わいなどで、リテラシーの基礎となる、そして自立した「個人」で知識基盤社会を生き抜いていくための基礎力を養います。特に中野キャンパスにおいては、基本的な図書館の使い方や図書の探し方、調査法の基本、情報を利用する上でのマナーなどを学びます。				
2 日程・テーマ・担当書				
①	9月25日	大学図書館への招待	国際日本学部 教授 美濃部 仁 図書館職員 久保木 和義	
②	10月 2日	文献・情報の探し方(1)概論	図書館職員 久保木 和義	
③	10月 9日	レポート・論文の書き方(1)	国際日本学部 教授 美濃部 仁	
④	10月16日	レポート・論文の書き方(2)	総合教理学部 教授 砂田 利一	
⑤	10月23日	図書館と著作権	図書館職員 鈴木 秀子	
⑥	10月30日	書物の楽しみ	国際日本学部 教授 坂 峻	
⑦	11月 6日	文献・情報の探し方(2)図書①	【演習】 図書館総務事務長 菊池 亮一	
⑧	11月13日	文献・情報の探し方(3)図書②	【演習】 図書館総務事務長 菊池 亮一	
⑨	11月20日	文献・情報の探し方(4)雑誌論文①	【演習】 図書館職員 折戸 晶子	
⑩	11月27日	文献・情報の探し方(5)雑誌論文②	【演習】 図書館職員 折戸 晶子	
⑪	12月 4日	文献・情報の探し方(6)レファレンス資料	【演習】 図書館職員 畑野 麻子	
⑫	12月11日	文献・情報の探し方(7)新聞	【演習】 図書館職員 畑野 麻子	
⑬	12月18日	文献・情報の探し方(8)インターネット	【演習】 図書館職員 久保木 和義	
⑭	1月 8日	文献・情報の探し方(9)まとめ	【演習】 図書館職員 久保木 和義	
⑮	1月15日	総合演習	国際日本学部 教授 美濃部 仁 図書館職員 久保木 和義	
3 履修上の注意点・卒業学習の内容 教員と専門の図書館員が、それぞれのテーマを分担します。講義(概論)と演習を有機的に組み合わせ、演習では実際にパソコンを操作してデータベース検索等を行います。なお、演習授業は、情報基盤本部が実施するMIND利用講習会を事前に受けていないと受講できませんので、注意してください。				
4 教科書 教材は印刷資料を配布する。				
5 参考書 大野友和編「大学図書館がゼロからわかる本―学生のための図書館活用法」(2005、日本図書館協会、ISBN9784830405009) 小笠原善康著「大学生のためのレポート・論文術」(2004、講談社、ISBN4061496034)				
6 成績評価の方法 ①平常点(50%)、②総合テスト(25%)、③期末レポート(25%)を総合的に判断する予定です。＊授業回数の3分の1以上欠席した場合は、原則として期末レポートを提出する資格がありませんので注意してください。				
7 その他				